



◆巻頭言

我々の緑を守る活動は「栄さとやまのりの会」に始まり、「瀬上さとやまのりの会樹林地部会」に発展し、通算15年となりました。15年も長く続いた理由は大きな事故を起こさなかった事と誰もが何でも言い合える雰囲気とチームワークの良さがあったからだと思います。

これからも楽しく作業が出来る会であってほしいものです。そのためには会員みんなが事故は絶対に起こさないという安全第一の意識を持って作業する事が必要だと思います。

その安全作業は会員一人ひとりが危ないことは危ないと自覚し、自主的自発的に安全な行動をとり、危険と気が付いたことは遠慮なく声を上げることだと思います。

安全は人から与えられるものでなく自らの行動で取得するものです。しかし、作業に慣れてくるとついつい早く終わらせたい、楽をしたい、このくらいは大丈夫だと基本を無視した作業をしがちです。慣れは気のゆるみを生じることがあります。

どんな作業でも気を引き締め安全重視で事に当たることが大切です。また、我々の道具は鋸、ナタ、鎌、ハサミ、チェーンソー、刈払機等が主なものです。使い方によっては全て凶器に変わる危ないものばかりです。

作業を行う場合、初歩的なことですが器具の決められた取扱方法を守り、必要な保護具を身に着け前後左右近くに人はいないか、立ち木を倒す場合倒す方向に危険物がないか、人はいないか、人は通らないかの確認が必要です。逆に自分の立場所も危ない場所になっていないかの確認も重要です。

作業は決められたことは必ず守る、守ってもらうということが大切です。そして、この先もみんなが楽しく作業することが出来る居心地のいい樹林地部会にして行きましょう。

佐谷光雄

● 30年7月・8月活動予定

◇平成30年7月・8月の活動予定

- ・熱中症対策に心掛けて下さい。早めに吸水、休憩を取りましょう。
- ・防虫対策は噴霧式や塗り込むものとし、蚊取り線香（腰ベルトに掛ける）は山火事の原因にもなりかねません。使用するのはやめましょう。

1) 7月8日(日) 9時半～14時半(定例作業)・集合場所 池の下広場

◇作業目的：景観保全型落葉広葉樹林を目指した保全作業

：ボランティア塾生の体験講座

・作業場所：道場丸エリア(区域B)

・作業内容：ネザサの除伐(駆除)と片付け

：高木照葉樹の除伐と片付け整理(光環境の改善)

・持ち物 常備具(手ノコ・ナタ・カマ)、お弁当、飲料水、防虫剤

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、刈払機、チェーンソー、カゲヤ、

刈り込みハサミ、スコップ、レーキ

2) 7月22日(日) 9時半~14時半(定例作業) ・集合場所 池の下広場

◇作業目的: 景観保全型落葉広葉樹林を目指した保全作業

・作業場所: いっしんどうエリア

: 道場丸エリア

・作業内容: いっしんどうエリア(前月作業の続きと笹刈り)

: 道場丸エリア(夏のモニタリング)

・持ち物 常備具(手ノコ・ナタ・カマ)、お弁当、飲料水、防虫剤、他

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、チルホール、カケヤ
刈り込みハサミ、ロープ、

3) 7月29日(日) 仮予定、変更の可能性あり。8時半~12時

※変更は7月22日までにメール連絡を行ないます。

・集合場所(作業場所): 飯島町自治会館

・作業内容: 植栽の剪定と街路樹の枝落とし。

・持ち物 手ノコ、剪定バサミ、刈り込みハサミ、草取りカマ

飲料水、防虫剤、

4) 8月18日(土) 救命救急講習会・北小菅ヶ谷公園の視察・納涼会

・救命救急講習会(栄消防署) 9時~12時

・北小菅ヶ谷公園の視察 13時半~15時半

・納涼会(大船海福) 17時半~20時

30年9・10月号の原稿に関し、上記活動報告は三島氏巻頭言は高島氏 リレートークは長谷川氏です。原稿の締め切りは8月25日(土)、伊藤氏迄宜しくお願いします。) 欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

1. 平成30年5月13日(日)曇り 午後3時過ぎから降雨

公田竹林蹴っ飛ばし及び整備作業

参加者: 高島 佐谷 山上 渡部 渡邊 三島 長谷川 山田 浅見 酒巻
岡 前村 小宅 戸賀澤 上手(打合せのみ) 小嶋 竹内 伊藤 計18名

区役所: 高橋係長 桂田、安井

天気を心配して作業を急ぐ。遅かった為か筍は少なく収穫物は穂先をメインに蹴とばし。

12時半より打ち合わせ

①会員高氏の名簿住所の変更(柏陽⇒小菅ヶ谷)

②上手氏休会に伴う連絡網の発信人(長谷川氏に変更)、副部長職を竹内氏に委任

③8月18日(土)予定の救命講習の日程の確定とその後の予定。



安全第一 準備体操も入念に



今年度も体験教室が楽しみ



竹林 遠景

2. 平成30年5月27日(日) 晴 いっしんどう 苗場、道場丸での検証

参加者: 浅見 三島 渡部 渡邊 戸賀澤 高島 酒巻 岡 枝村

長谷川 山上 高 小宅 伊藤 丸山(いっしんどうへ打ち合わせに)計15名

女性陣は苗場の除草と補強(9:30~10:15)、道場丸へ移動モニタリング地点の笹きり
しつつ植物調査【23種を数え、多かったエゴノキの芽生えは110本、カラスザンショは
抜いたがその数29本】狭い区域にその数に圧倒された。(10:25~11:15)

いっしんどう広場での作業に合流。ツツジの刈り込みを手伝い、男性陣はA1下での
高木枝切りを進めていたが反動で高島氏の左大腿部に木が当たり打撲を負う。

打ち合わせ:

- ① 8/18の詳細日程決定(救急救命講習⇒小菅ヶ谷北公園の研修⇒納涼会海福)
- ② 作業時着用のベストを15周年記念で作成。
- ③ 3部会合同でのコイタチ川枝払いを11/8予定。



3. 平成30年6月10日(日) 曇のち雨 池の下広場にて反省会

参加者: 小宅 長谷川 三島 高 佐谷 戸賀澤 渡邊

渡部 山上 伊藤 計10名

① 5月27日いっしんどう広場下斜面地での榎伐採時発生した打撲事故(左足大腿部
靭帯損傷)について検証した。

- ・切った枝が約7m高の所で『枝が掛かり』し、地面部分をチェーンソーを使い切った所、振り子の様に反対側で見守っていた高島氏を直撃した。
- ・当初枝切りの為、綱引き等で多数要員にて作業進めた事もあって周りに人が多かった想定外?の反動。安全指示者不在。
- ・初心に帰り安全第一を考慮。3人一組態勢(少数精鋭)。安全管理・保険係の必要性。
- ・防具等の充実。チルホールの利用。等反省とした。

② 6/1のザリガニ調査報告。仕掛けには『コブナ』『ウシガエル』がそれぞれ1匹。
タモ網での調査で沼エビ、ザリガニ5cm以下が13匹、モノサシトンボ幼虫、
マメゲンゴロウなどが居て、豊かな環境である事が分かった。(後日報告書)



ザリガニ調査



事故反省会

4.6月24日(日)朝より雨のため活動は中止。

◆ リレートーク

優れもの、それは登山アプリケーション

野沢 孝

前回のリレートークでは、「私の山歩きは、バリエーションルートが主体で、地形図とコンパスを持って、道標がほとんどない山道を、いわゆる地図読みをして苦労しながら、そのルートを歩くことを楽しんでいる」と書いた記憶があります。

その後、登山仲間から、登山用アプリケーションの存在を知らされました。GPS付きスマホにこのアプリをダウンロードして事前に地形図を保存すれば、機内モードをオフにしても、スマホの圏外でも、GPSは機能するので、自分の居る現在地がほぼ正確に表示されます。尾根の分岐点では、どちらの尾根に進むのか、迷うところです。そこでこのアプリを開いて現在地を確かめ、進むべき方向を決定します。

このアプリを使い始めてからは、道迷いの不安も皆無で、余裕を持って、バリエーションルートを楽しむことができます。

編集後記：5月19日(土)荒井沢市民の森開園20周年記念行事がありました。

みなさまに代わってご挨拶だけさせていただき、極楽広場に於ける集いのひとときに参加させていただきました。

当日出席された方は区長をはじめ、南部公園緑地事務所の中村さん、瀬上市民の森愛護会 高橋会長、にもお目にかかりました。

先週の公田竹林保全作業にも参加していただいた区政推進課 高橋係長、安井さん、桂田さんもお見えになり、「本当に蹴とばしの竹の穂先は美味しかった」の感想もいただきました。

荒井沢市民の森周辺は「横浜のグランドキャニオン」と呼ばれる景観が残る一方、環状道路工事が着々とすすみ、近隣には高齢者の福祉施設があり、私たちが保全する瀬上市民の森とは課題も異なるところがあると思いますが、20周年を迎えられた愛護会(ボランティアと地権者の方々)が一体となって、整備をすすめ、市民の森として保全、近隣小学校の田植え教育活動にあたってこられた実践から学ぶものは大きなものがあると感じました。

興味のある方は「あらいざわ通信」あわせてごらんになってください。(小宅)

<http://www.st.rim.or.jp/~naganuma/araisawa/tsusin91.pdf>